

環境経営レポート

2023年度
(2023年2月 ～ 2024年1月)



大博鋼業株式会社

作成 2024年 3月 14日



環境省

エコアクション21

認証番号0008273

1. 組織の概要

①事業所名および代表者氏名

大博鋼業株式会社
代表取締役 山口 毅

②所在地

部署名	住所	人数
本社	大阪市西区九条南2-23-20	30
波除工場	大阪市港区市岡元町2-5-18	2
姫路営業所	姫路市飾磨区恵美酒下長301	17
四国営業所	香川県三豊市高瀬町新名647-1	16
福山営業所	広島県福山市神辺町川南818-3	19
広島営業所	広島県安芸郡海田町栄町6-10	15
福岡営業所	福岡県粕屋郡須恵町大字植木155-1	18
北陸営業所	石川県金沢市福久町カ-1	13

2024.3.14時点

③EA21責任者および担当者

環境管理責任者： 営業推進役 東 哲也

担当者： 同上

連絡先：

tel 06-6581-8340

fax 06-6583-3700

④事業の内容

鉄鋼卸販売業

⑤事業の規模

活動規模	単位	2021年	2022年	2023年
販売量	t	21,506	24,451	23,076
売上高	百万円	6,401	7,370	7,469
従業員	人	114	118	130
床面積	m2	11,192	11,192	12,950
クレーン3t	基	26	27	28
切断機械	台	37	37	38

⑥事業の経緯

弊社は昭和21年、磨シャフトの卸販売として創業以来、豊富な経験とお客様に恵まれ、その間安定した成長を続け、おかげさまで業界のトップクラスの地位をいただいております。

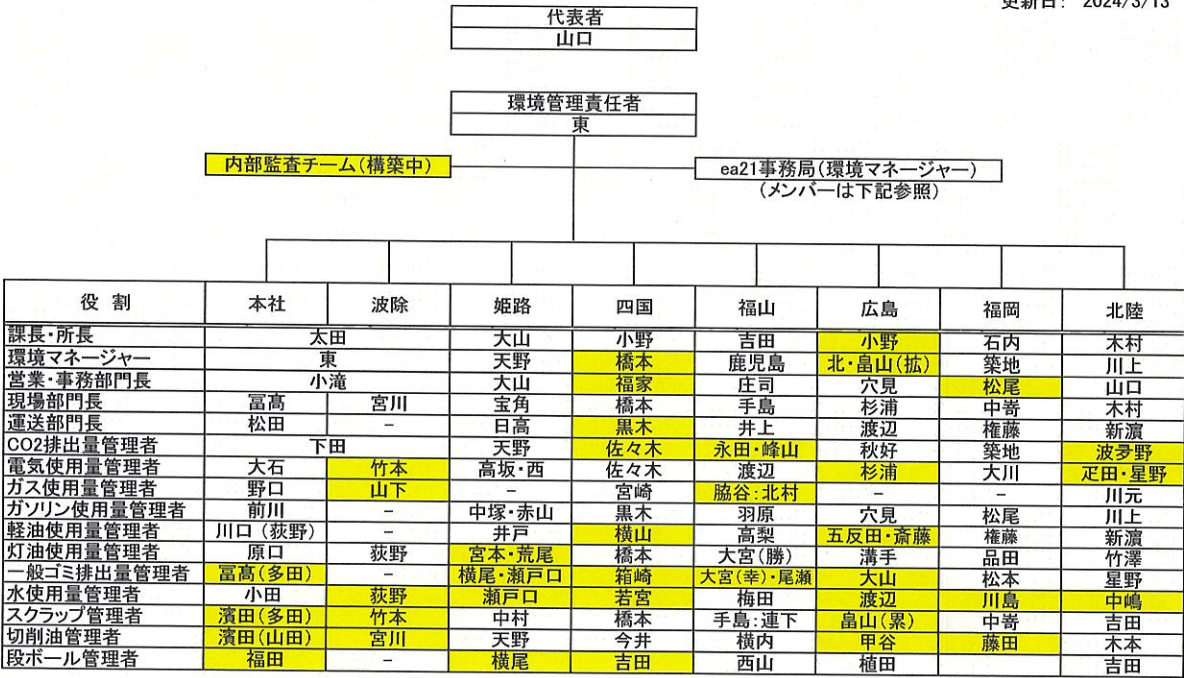
大博鋼業は「お客様との信頼感」を経営理念として21世紀を迎え、限りなく高度化や多様化、さらに合理化・省力化するお客様のニーズにお応えすべく、社員共々、尚一層お客様に信頼され、そして企業価値のある会社を目指してまいります。

お客様に時間・満足・情報をご提供し、「信頼という流通」の担い手になれるよう、努めてまいります。

今後とも、より一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

大博鋼業(株) ea21 実施体制図および役割・責任・権限表

作成者: 東
更新日: 2024/3/13



変更箇所は黄色表示

	役割・責任・権限
代表者(社長)	- 環境経営に関する統括責任 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 環境経営目標・環境経営計画書・環境経営レポートを承認 - 代表者による全体の評価と見直し・指示を行う - 環境経営の実施に必要な経営資源(人、設備、費用等)を用意 - 目標見直し会議・代表者見直し会議等への出席
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築・実施・管理 - 各種環境関連会議の開催・進行 - 環境関連法規等の取りまとめ票を承認、及び遵守評価の承認 - 環境経営目標・環境経営計画書を確認 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告・代表者見直し会議対応 - 環境経営レポートの確認
EA21事務局 (環境マネージャー)	- 環境管理責任者の補佐 - 環境への負荷及び取組の自己チェックの実施 - 環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 - 環境活動の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成と公開(事務所備付) - 自営業所の所長・部門長・管理者の補佐
所長	- 自営業所における環境経営システムの責任者 - 自営業所における環境経営方針の周知 - 自営業所の従業員に対する教育訓練の実施 - 自営業所に関連する環境経営計画の進捗・達成状況の確認 - 特定された項目の手順書及び運用管理の確認
部門長	- 自部門における環境経営方針の周知 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理 - 自部門の問題点の発見・是正・予防処置の実施
管理者	- 特定された項目の手順書作成及び運用管理 - 自部門の集計及び部門長への報告 - 自部門の問題点の発見・是正・予防処置の実施
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加
内部監査チーム (構築中)	- 各事業所の環境活動の実施に関する内部監査 - 内部監査結果の報告

環境経営方針

弊社は企業活動を通じて環境問題が人類共通の重要な課題であることを認識し、地球環境の保全や環境法規の遵守に努め、環境と調和した豊かな社会づくりに貢献します。

1. わが社は、鉄鋼販売卸売業の会社として全社員で協力し、環境経営システムを構築し、下記事項を重点テーマとして、効果的な取り組みを行います。
 - (1) 鉄鋼製品の切断時に発生する端材を有効活用し、不良スクラップ量の削減に努めます。
 - (2) 電気・水・燃料等、CO2・資源・エネルギーの使用量削減に努めます。
 - (3) 一般廃棄物の排出量削減につとめます。
2. 環境関連法規、各市町村条例を遵守致します。
3. この環境経営方針をもとに環境目標を定め、見直し・改善を行い、環境管理レベルの向上を図ります。
4. 以上の環境経営方針を全社員に周知徹底し、環境に対する意識を各々高め会社全体の環境保全に努めます。
5. 経営における課題とチャンスを踏まえて、経営します。
6. 環境経営の継続的改善を誓約します。

また、エネルギー費用やスクラップの削減だけでなく、不良スクラップを抑えることで、ミスの軽減にもつながり、お客様への信頼も厚くなり、持続的に継続することによって、売上数字を伸ばすことを目的といたします。

作成：平成23年4月 1日
改訂：令和 6年3月14日
大 博 鋼 業 株 式 会 社
代表取締役社長 山口 毅

3. 環境経営目標と実績

①環境負荷の現状

項目	単位	新基準年				
		2019	2020	2021	2022	2023
CO2排出量	kg-CO2	630,669	560,047	598,892	526,825	566,400
一般廃棄物排出量	kg	7,429	5,905	7,227	6,659	6,950
水使用量	m3	1,588	1,525	1,453	1,392	1,389
スクラップ排出量	kg	364,192	291,956	335,686	366,318	359,608
グリーン購入(純増数)	品目数	15	-	-	-	-

※ CO2排出量算出に用いた電力の排出係数:

2018年度からの排出係数は、0.493kg-CO2/kWh(平成28年度関西電力調整後)である。

※ グリーン購入については、スタートしてから10年以上が経過し、これ以上大きく純増が難しく、2024年度から項目は削除する。(2020年度から数値計測をしていない)

②目標設定と実績、および今年度以降の目標

2022年度以降の環境経営目標については、2022年3月に「目標見直し会議」を行い、その結果2022年度からは 2021年度を新たな基準年度とし、以降年度ごとに各項目 1%削減(増)とした不良スクラップ発生件数については、重要課題であることから年度ごとに 10%削減とした。

項目	単位	推移		目標		
		2013 (基準年)	2021 (新基準年)	2022	2023	2024
電気使用量	kWh	456,340	13%増加 517,006	1%削減 511,836	2%削減 506,666	3%削減 501,496
灯油使用量	L	3,436	48%削減 1,799	1%削減 1,781	2%削減 1,763	3%削減 1,745
一般廃棄物排出量	kg	7,624	5%削減 7,227	1%削減 7,155	2%削減 7,082	3%削減 7,010
水使用量	m3	1,736	16%削減 1,453	1%削減 1,438	2%削減 1,424	3%削減 1,409
ガソリンの燃費	km/L	11.54	29%向上 14.85	1%向上 15.00	2%向上 15.15	3%向上 15.30
軽油の燃費	km/L	7.49	1%向上 7.48	1%向上 7.56	2%向上 7.63	3%向上 7.70
不良スクラップ発生件数	件数	1095	20%削減 872	10%削減 785	20%削減 698	30%削減 610

※当社は、2011年4月よりEA21認証取得に向かって、環境活動に取り組んできた。2012年からは、ガソリン・軽油では「使用量削減」から「燃費向上」へ、スクラップでは「使用量削減」から「原単位削減」へ目標を変更した。さらに2018年からは、スクラップの「原単位削減」から「不良スクラップ発生件数の削減」へ目標を変更した。

(備考)新基準年の上記数値%は、2013年実績からの削減率を示す。
但し、北陸(営)の計測は2015年より開始したため、その数値の中で
北陸(営)については基準年を2015年として加味している。
不良スクラップ発生件数については、基準年度は2017年としている。

都市ガス及びLPGについては、微量につき使用量の把握は行いが、数値目標設定は行わない。また、切削油及び段ボールについても同様、把握はするが数値目標設定は行わない。
化学物質は使用していない。
自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する項目は「不良スクラップ発生件数」です。

4. 主な環境経営計画の取組結果と評価

各事業所ごと(本社+6営業所)に取り組みを設定した。
いずれの事業所においても、ほとんどの取組が良く実行されていた。
代表として本社の環境活動計画をP10-11に添付する。

5. 2023年度 環境経営計画の取組結果の評価(詳細)

2023年度実績の評価

項目	単位	目標※	実績	達成率	評価
電気使用量	kWh	509,172	526,827	97%	△
灯油使用量	L	1,814	1,576	115%	○
一般廃棄物排出量	kg	7,082	6,950	102%	○
水使用量	m3	1,459	1,389	105%	○
ガソリンの燃費	km/L	15.15	14.99	99%	△
軽油の燃費	km/L	7.63	7.60	100%	△
不良スクラップ発生件数	件	735	501	147%	○

評価:○ 目標達成 △ ほぼ達成(削減80%以上)

× 未達成(削減80%未満、是正項目とする)

達成:削減項目=目標/実績(%) 向上項目=実績/目標(%)

CO2排出量の総合計: 566,400kg-CO2

※ 2023年度目標値については、各営業所の計画値を集計し、全社目標値を算出している。
各営業所の計画値(年度目標値)については、代表者見直し時に営業所の諸事情を配慮した目標値を見直して設定しており、P5中期計画の目標数値と若干整合しない項目もある。

①電気使用量の削減

福山(営)・福岡(営)は順調であったが、本社、波除・姫路(営)・広島(営)・北陸(営)は是正処置の必要のない未達成であった。四国(営)は営業所の移転があり、目標数値の見直しが必要である。

②灯油使用量の削減

福岡(営)は大きく未達成であり、是正処置を行った。本社は是正処置の必要のない程度の未達成であった。その他の営業所は順調に目標達成した。

③一般廃棄物排出量の削減

本社・広島(営)・福山(営)が、是正処置の必要のない程度の未達成であった。
その他の営業所は順調に目標達成した。

④水使用量の削減

広島(営)・福岡(営)・本手が、是正処置の必要のない程度の未達成であった。
その他の営業所は順調に目標達成した。

⑤ガソリンの燃費向上

本社、福山(営)、広島(営)、福岡(営)、北陸(営)が是正処置の必要のない程度の未達成であった。
姫路(営)・四国(営)は目標を達成した。燃費の良好な営業車に切り替えているのが要因と推測している。

⑥軽油の燃費向上

本社・広島(営)・福岡(営)・北陸(営)が、是正処置の必要のない程度の未達成であった。
姫路(営)・四国(営)・福山(営)は、なんとか目標達成した。
小ロットでのデリバリー 件数が増加する傾向があり、これが要因と推測される。

⑦不良スクラップ発生件数の削減

各営業所ともに、きわめて順調に目標達成した。
全社で見ても、大きく目標達成ができており、活動の効果が出ている。

6. 環境関連法規等への違反の有無

環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無については、
弊社に適用される主な環境関連法規等の一覧及びそれらの
遵守状況を確認した結果として、環境関連法規への違反はありません。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。
環境法規等の訴訟は過去3年間ありません。

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物・産業廃棄物(有価物で処理)	○
騒音規制法	空気圧縮機 法律・条例に従い届け出	○
振動規制法	空気圧縮機 法律に従い届け出	○
消防法	スプレー缶・灯油・防錆油 指定数量0.2未満	○
水質汚濁防止法	切削油等 下水への流出禁止	○
下水道法	切削油等 下水への流出禁止	○
浄化槽法	法定点検の実施	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの点検・記録 機器廃棄後も3年間記録保存	○

○: 遵法できている

7. 次年度の取り組み

2024年度については、「環境経営計画」を下記の如く削除・変更・追加を行う。

<削除>

事業所	項目	計画	理由
本社	電力	必要のない場所の電気は消す	
福山(営)	スクラップ	端材リスト作成・毎月更新現場に展開	習慣化したため
四国(営)	美化	社内、社用車の美化	
			雑音などでの使用不可
福岡(営)	空調	冷暖房設備の見直し、取組(実地のみ○)	
	燃費	燃費記録表作成	習慣化したため
北陸(営)	スクラップ	端材棚での細かい管理	
	燃費	少ロット対応は小型車での納品	
	一般ごみ	見積回答紙を利用して注文する。	習慣化したため
	効率化	新しい手動鋸購入	

<追加・変更>

事業所	項目	計画	理由
本社	電力	スポットクーラー、コンプレッサー点検	フロン漏れ検査
姫路	燃費	効率的な配送	コスト削減
四国	スクラップ	端材棚の整理整頓	作業効率化
福山	スクラップ	クレーム発生時、分析しミーティングをする	更なる改善を目指すため追加
広島	節水	洗車時の節水	コスト削減
福岡	効率化	チャーター便のフル稼働	作業効率化
		遠方配送等の路線便の活用	
北陸	燃費	備車使用の効率化	コスト削減
	一般ごみ	メーカーからの紐、ナイロンを再利用	ゴミ削減
	効率化	デジタルノギス使用し見間違い防止	スクラップ削減
	効率化	端材置場の追加、偶数、奇数でサイズ分け	作業効率化

8. 代表者による全体の評価と見直しの結果(2024年3月11日)

<環境経営方針>

グリーン購入の項目記載を削除する。

<環境経営目標・環境経営計画>

- ①内部監査の情報共有効果により、全事業所独自の取り組みで良い結果が出ている。
今後は各拠点でさらに独自の取り組みを行い、不良スクラップの件数を減少して欲しい。
- ②目標は従来の中期計画通りとする、移転した四国はほぼ目標を達成しているので見直しはしない。
- ③環境経営計画は、提案(環境経営レポート記載)通りの変更とする。
- ④【EA21頑張ったで賞】は、全項目を目標達成した営業所がなかったので見送りとしたが、引き続き継続していく。新たな対応として、何らかの表彰も取り入れて活動を促進していきたい。
- ⑤不良スクラップの発生件数に焦点を絞った内部監査を行った結果、ルール確認と原因分析ができた。
今後は、SR活動における不良スクラップ削減項目は、各営業所での管理とする。

2023年6月9日の目標見直し会議にて、下記事項の変更、改善をした。

- ①業務改善報告書を回覧する。
- ②環境経営レポートに記載されている達成率の計算方法見直し
削減項目＝目標/実績(%）、向上項目＝実績/目標(%)で算出。
100%以上が目標達成、100%以下が目標未達と分かりやすくなった。

環境経営方針	変更あり グリーン購入項目の削除
環境経営目標	変更なし（中期計画のまま）
環境経営計画	環境経営レポート記載の項目について、削除・変更・追加する。
実施体制	変更する(新体制は環境経営レポートの通り) ただし、内部監査チームについては、6月までに新たに構築し、 内部監査は2024年秋に行う。

項目			計画	2月評価	3月評価	4月評価	5月評価	6月評価	7月評価	8月評価	9月評価	10月評価	11月評価	12月評価	1月評価	年間評価	
二酸化炭素 排出量	電力の削減	空調	空調使用時のルール 夏場25～27℃ 冬場21～25℃の設定を行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			エアコン点検・フィルター清掃(3カ月に1回)		○			○			○			○			
			エアコン使用時でも定期的に換気を行 う (感染対策の為)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			必要のない場所の電気は消す	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	灯油使用量の削減	灯油	2000缶の購入を止め、180ポリタンク 4個で購入・管理	○	○									○	○	○	
			燃料使用量の削減	配達	遠方で1か所のみの配送は、営業スタッフ と工場長で必ず相談する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	営業・配達	タイヤ圧日常点検(足で押す)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				エコドライブ10の取り組み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般ゴミ総排出量	紙		伝票の打ち間違いを防ぐ	○	○	△	△	○	△	△	△	△	△	△	△	△
			印刷後、破棄する書類の裏面再利用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可燃ゴミ		分別	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水使用量の削減			節水	休日が3連休以上の場合は 検針を行う	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
端材の有効活 用	スクラップ削減		お客様・事務所・営業要因のスクラップは 課長へ報告。現場要因は、工場長へ報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			不良スクラップのカウント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			クレーム報告0件/月	△	○	○	△	○	△	△	○	○	○	△	○	△	△

…追加項目 削除項目 コピー機の使用後はリセットする。 ○出来ている △充分でない ×出来てない

項目			計画	2月評価	3月評価	4月評価	5月評価	6月評価	7月評価	8月評価	9月評価	10月評価	11月評価	12月評価	1月評価	年間評価	
二酸化炭素 排出量	電力の削減	空調	空調使用時のルール 夏場25～27℃ 冬場21～25℃の設定を行う。	○													
			エアコン点検・フィルター清掃(3カ月に1回)														
			エアコン使用時でも定期的に換気を行 う (感染対策の為)	○													
			スポットクーラー、コンプレッサー 点検(3ヶ月/1回)														
	灯油使用量の削減	灯油	200ℓ缶の購入を止め、18ℓポリタンク 4個で購入・管理	○													
	燃料使用量の削減	配達	遠方で1か所のみの配送は、営業スタッフ と工場長で必ず相談する。	○													
		営業・配達	タイヤ圧日常点検(足で押す)	○													
			エコドライブ10の取り組み	○													
一般ゴミ総排出量			紙	伝票の打ち間違いを防ぐ	○												
				印刷後、破棄する書類の裏面再利用	○												
			可燃ゴミ 分別	○													
水使用量の削減			節水	休日が3連休以上の場合は 検針を行う	○												
端材の有効活 用	スクラップ削減	お客様・事務所・営業要因のスクラップは 課長へ報告。現場要因は、工場長へ報告	○														
		不良スクラップのカウント	○														
		端材使用強化月間(サイズ特 定) 3ヶ月/1回実施															



…追加項目

削除項目

必要のない場所の電気は消す

○出来ている △充分でない ×出来てない